

令和3年度第2回会議議事要旨
(令和4年2月1日開催)

令和4年6月

南 城 市

1. 報告事項(令和3年度第1回議事要旨、令和3年度の取組実施状況、Nバス及びおでかけなんじいの利用状況、小中高生アンケート結果)について

番号	委員	事務局
1-1	資料④の16ページの中学校別の下校手段のデータで、佐敷中学校と知念中学校のNバスの利用が多くなっているが、どのような理由が考えられるか。(大城委員(南部土木))	佐敷中学校はつきしろ地区において再編前よりスクールバスで登下校する生徒がいたため、バス利用が根付いていることが理由として考えられる。 知念中学校はNバスの運行ルート及び通学ルートが国道一本であることから、ルートが分かりやすいことが理由として考えられる。
1-2	小学生の徒歩通学の割合が減少し、送迎の割合が増加している要因は何か。(神谷委員)	送迎が増えた要因は、授業が新型コロナウイルスの影響で短縮授業になるなど、下校時間が不規則になったことが考えられる。
1-3	バス利用を定着させるための取組として小学生などにバス利用に応じたインセンティブを与えるような取組があると良いのではないか。(神谷委員)	Nバスのアテンダントなどと共同でイベントを企画し、イベントにおいてバス利用に対するインセンティブを与える方策を検討する。
1-4	小中高生アンケート調査の回収率が低く、意見の信頼性について疑問を感じる。今後調査を行う際は回収率向上のための策を講じてほしい。また、アンケートの回答でその他と回答した割合が高くなっているから、具体的な意見が分かるようにしてほしい。(斎藤委員)	今回のアンケート調査は緊急事態宣言中にWebアンケートで行っており、前回行った紙アンケート調査と比較して回収が難しい状況だった。その点も踏まえて次回アンケート調査を行う際は回収率向上させるための対策を講じる。その他の意見についても次回の委員会で共有する。 →本資料のP4~P6に掲載
1-5	票数は少ないものの、那覇商業高校や糸満高校といった市内から遠く離れた高校の通学手段で徒歩通学が選択されているが、どういった理由なのか。(金城委員)	この選択肢は複数回答であり、代表的な通学手段を選択しているため、送迎やバスを降りた後に徒歩で通学している生徒が選択したと考えられる。
1-6	観光客におけるレンタカーの減車の影響があったのかどうかについて、感覚でもいいから教えてほしい。(大城委員(観光協会))	観光客向けのシャトルバスの利用は一定数あるため、影響はそこまで大きくないと考えられる。

2. Nバスの運行見直しについて

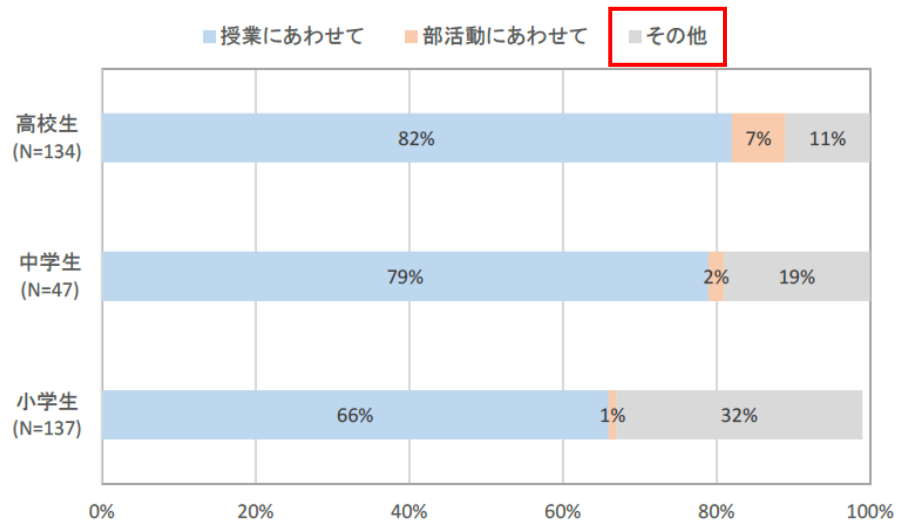
番号	委員	事務局
2-1	再編を行うに当たり、系統毎の平均利用者数だけでなく、バス停毎の乗降者数を参考にして再編を行うといったことを検討してほしい。（小谷委員）	Nバスについては、バス停毎の利用者数のデータも取得しているが、取得データにばらつきがあるため、今回の再編ではお示していないが、次回再編時には、提示できるようにデータを整理したい。
2-2	知念高校の通学用に設定している系統の代替手段について幹線バスでカバーするよう検討中とあるが、幹線バスの時刻変更を行うという認識でいいのか。（小谷委員）	実現可能性については、現在社内で検討中であり、高校の登下校などのニーズがあるのであれば再編を行い対応することを検討する。（名嘉山委員）
2-3	再編後のA1及びA2系統の時刻だが、幹線バス（338系統など）と運行経路が重複するため、競合を避けるためにも運行時刻が接近しそうな便については運行間隔をしっかりとってもらいたい。（普久原委員）	幹線バスとの競合を避けるためにも、運行間隔が接近する便については出来るだけ間隔を取るよう調整する。
2-4	今回の再編に関して各系統とも減便・廃止といった変更がなされているが、この再編事項について利用者に対して事前に周知をおこなっているのか。いきなり路線の廃止を行うといったことは避けた方がよい。（神谷委員）	事前にデータを用いた利用状況の周知は行っていないため、減便・廃止のお知らせは会議で承認を得た後にバス停や車内で行う。
2-5	今後再編を行うに当たっては、利用状況を提示し、減便・廃止基準などを設けた上で再編を行ってほしい。（神谷委員）	今後再編の際は利用状況の提示や減便・廃止基準などを設けた上で実施したい。今回の再編は令和4年の4月に行うことが決まっているため、利用者に対して理解いただくように周知などを行う。
2-6	今回の再編に当たり、利用実態や要望などは小中高生アンケートから行っているが、高齢者へのアンケートは行っているのか。（金城委員）	今年度の調査では高齢者へのアンケートは行っていないが、昨年度、網形成計画の中間評価のため市民アンケートを行っており、その中で高齢者のニーズも把握している。
2-7	先ほど神谷委員からの意見でもあったように利用者に対して利用状況を提示する手段として、浦添市の「うらちゃんmini」の取組を参考にしてはどうか。（小谷委員）	頂いた意見を参考に今後の周知について検討する。

3. 南城市地域公共交通再編実施計画の見直しについて

番号	委員	事務局
3-1	資料の2ページだが、339系統の再編に関して、赤字で書かれている壺川経由ではなく、開南経由の間違いである。開南経由の系統が新しく2022年より運行になる。(名嘉山委員)	ご指摘の通り修正する。
3-2	資料の11ページの、幹線バスの支出金額が4,100万円減少になっている部分について詳細に説明してほしい。(慶田委員)	幹線バスの支出の減少分については、再編前後で比較して算出している。再編により幹線バスの運行本数、運行距離が減少しているため、支出が減少している。
3-3	再編実施計画を策定するための法律が改正され、現在の法律での計画は利便増進計画となっている。法改正にあたって細かい点が変更となっているため、認定にあたっては今後企画室との調整をさせてほしい。(斎藤委員)	今後、見直す際に相談させていただきたい。

～ 小中高生アンケートにおける主なその他意見 ～

【学校到着時間変更希望の理由】



<小学生>

- 朝活動、委員会活動があるため。
- 親の通勤時間にあわせるため。
- 学校に入れる時間にあわせるため。
- 雨の日は、移動に時間がかかるので余裕を持つため。等

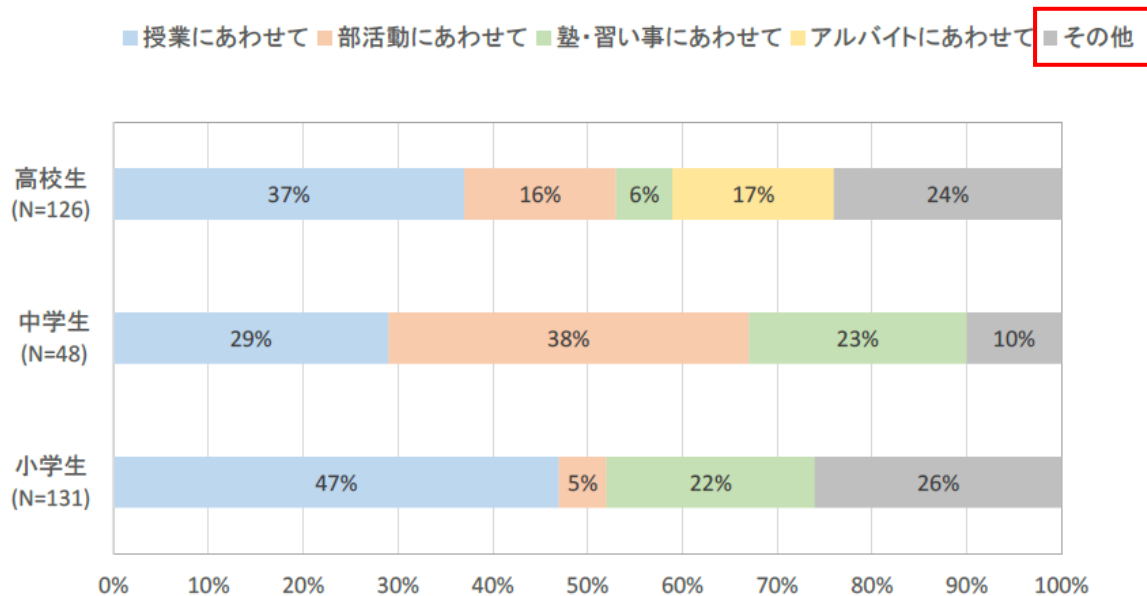
<中学生>

- 朝ゆとりをもって登校したいため。
- 親の通勤時間にあわせるため。等

<高校生>

- 朝ゆとりをもって登校したいため。
- 遅刻しないため。等

【学校出発時間変更希望の理由】



<小学生>

- 学童にあわせるため。
- バスの時間にあわせるため。等

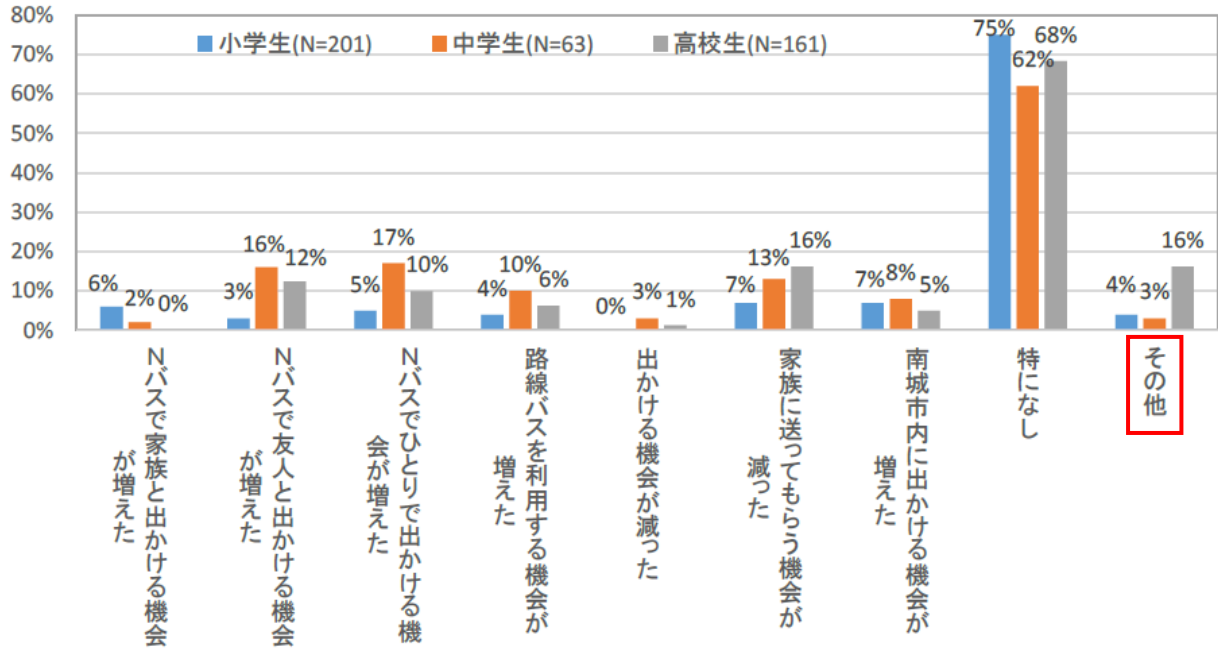
<中学生>

- 生徒会や部活動があると遅くなるため。等

<高校生>

- 早く家に帰りたいため。等

【Nバス導入後の変化】



<小学生>

- Nバスで登校するようになった。
- バスの時間が合わなくなり、クルマで登校するようになった。
- 子どもたちとバスで出かける計画をたてるようになった 等

<中学生>

- 路線バスより不便になった 等

<高校生>

- 登下校で利用するようになった。 等